

提出期限：令和7年3月21日(金)

令和 7年 3月 21日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	横山 潤	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名	
	氏名	所属
活動名	山形県の外来種の早期発見～防除総合パッケージの構築	
連携して活動を行った プラットフォーム加盟機関名	山形県	
活動報告	《活動内容》 県は住民からの情報に基づいて県内の外来種の分布状況の把握を行った。県からの情報に基づいて、横山が分布状況の確認（写真による判定ないし生息地における検分）を行った。本年度の対象は、横山の専門であり、特殊な捕獲技術が不要で、目撃情報を追認しやすい植物のうち、特定外来生物に指定されている種とした。防除が効果的に実施できる状況と判断された場合は、大学内でボランティアを募り、県と協働して防除活動を実施する。今年度は県からの情報及び横山の野外調査に基づいてオオカワヂシャ、アレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウの新たな分布を確認し、県と連携して馬見ヶ崎川でオオカワヂシャ、オオキンケイギクの駆除活動を実施した。また、今後のアレチウリの駆除に必要な分布情報について県と共有した。 《実施した効果》 地方自治体は今年度より外来種防除の主体となることが、新外来生物法によって義務付けられた。しかし、外来種の判別とそれに基づく分布状況の調査を実施できる状況になく、駆除を実施する人員も不足している。本年度の活動では、写真同定や実地見聞を横山が実施し、駆除には学生等の助力を得ることができたため、自治体に不足している部分を大学の人材で補うことができた。これによって、外来種の発見から防除までを一貫して実施することが可能になり、県内の外来種による被害軽減に資することができた。	

(裏面あり)

実施スケジュール	《スケジュール》 県には随時住民等からの情報を集積してもらい、それに基づいて随時外来種の分布状況の確認と調査、分布状況に応じた駆除活動を実施する。今年度特に目撃情報が増加している特定外来生物オオカワヂシャに関しては、すでに緊急防除活動を実施し、山形市内の一定範囲に生育する個体を駆除した。このような県と連携した防除活動を数回程度実施する予定だったが、実際にはオオカワヂシャとオオキンケイギクの防除活動を1回ずつ実施したのみだった。アレチウリについては、発見時にすでに防除困難な面積となっていたため、関係機関とともに状況を注視している。今年度得られた情報を中心に、随時寄せられる情報を集積してデータベース化している。						
支援金の用途報告	合計						
							円
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	分布状況調査旅費	山形県内・日帰り	1	×	3,860	=	3860円
				×		=	円
				×		=	円
				×		=	円
次年度の計画について	今年度に引き続き、県と連携して特定外来生物（植物）の情報を集積し、それに基づいて防除活動を実施する。特にオオカワヂシャとオオキンケイギクについて引き続き防除活動を行う。得られた情報に基づいて外来種データベースを拡充する。						
本事業へのご意見・要望							
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。	本活動は山形県が公示した外来種防除活動（https://www.env.go.jp/nature/intro/3control/kouji.html）の一環である。オオカワヂシャの駆除活動については、県公開の動画を参照（https://www.youtube.com/watch?v=z1e5AR2U2DU）						

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
--